

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	地区公民館整備事業		
事業担当	社会教育部 中央公民館		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	利便性 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等	社会教育法第21条		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
市民が安全で快適に利用し、公民館の機能が発揮されています。		生涯学習活動及び地域活動を推進するため、新耐震設計基準を満たさない地区公民館の建て替えを進めます。また、周辺の公共施設との複合化を想定した公民館の整備検討及び建設準備を進めます。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	大野公民館整備進捗率(平成26年度まで)			単位	%
	説明・算定式	平成26年度を100%とした進捗率。地質調査2.5%、基本設計2.5%、実施設計5%、建設工事等70%、外構工事等20%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	10	80	100		
	実績	10	80	100		
成果指標	指標名	地区公民館整備進捗率(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	整備完了を100%とした進捗率。整備検討10%、建設準備10%、基本・実施設計30%、建設工事50%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			5	10	
	実績		5			
進捗状況	: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
生涯学習活動及び地域活動を推進するための拠点整備として、大野公民館の新築工事が完了し、年度末に落成しました。						
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	公民館は地域の活動拠点として活用されていますが、老朽化及び人口増加による施設の狭あい化等が進んでいるとともに、風水害時の一時避難施設等として指定されていることから、建て替え等の整備が必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	建て替え等により、避難施設としての安全確保、社会教育施設としての地域の活動拠点、生涯学習推進のための充実度を高めます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	地域活動や交流の拠点として多用途に活用していきます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	大野公民館の建て替えについては、地域の関係団体で組織する「大野公民館建設準備委員会」と建設全般にわたって協議を進めていくことで、地元の意向も反映されて設計される公民館となります。	高中低
今後に向けた課題の分析		新耐震設計基準を満たさない公民館について、建替整備を進めていく必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		実施設計:大野	新築工事:大野	新築工事:大野、整備検討	整備検討
財源内訳	国庫支出金	0	65,680	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	225,000	0
	その他 特財	0	0	385	0
	一般財源	13,070	22,602	86,131	0
事業費 (A)		13,070	88,282	311,516	0
執行率 (%)		75.11	98.80	99.83	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針	新耐震設計基準を満たさない地区公民館における建替えの方向性及びスケジュール策定等の準備を進めます。
課長コメント	公民館は地域活動や学習活動に広く利用されることから、今後も誰もが安心安全に利用できるよう施設整備が必要です。